

「事業名：外国語教育、環境教育を活用した『持続可能なまちづくり』創造事業」 2024年度補助事業の実績・成果

獨協大学 連携市町村：田村市

連携市町村との協定締結日：2021年12月14日 現地拠点：田村市船引町石森館108 テラス石森内

事業のポイント

本学と田村市との間で継続的な連携関係を構築し、これまで大学が培ってきた「外国語教育」「環境教育」に関する資源やノウハウを活かした事業を展開し、情報発信と「環境に配慮した持続可能なまちづくり」の仕組みを構築し、それを相双地域の他の浜通り市町村に展開していく。

今年度の活動実績

- ・田村市教育委員会と協働して、「子ども未来講座」全5回を企画。第1回のテーマは「日本の学校、世界の学校」。留学生5名を含め8名の学生がサポートした。第2回以降は最少催行人数に満たなかったため閉講となった。
- ・小学校外国語科授業での指導力を向上させるため、田村市小学校外国語科「授業実践力」ブラッシュアッププロジェクトを実施。成果物として『Tamura English Education—Support Book—』を刊行。
- ・船引小学校、船引南小学校、美山小学校において、環境教育・SDGs教育を実施。
- ・『たむら市政だより』2023年9月号から、地球温暖化対策の連載コラム「ちょこっと、エコライフ～身近な省エネを実践しよう！～」を学生が執筆し、本学ホームページにもコラムの解説記事を掲載している。
- ・福島県立船引高等学校1学年「総合的な探究の時間」における地域課題探究活動に協力。また環境教育の一環で1・2学年にそれぞれ講義＋ワークショップも開催した。
- ・環境課と共催で市民向けに地球温暖化対策イベント「キエーロ・ワークショップ」と「断熱ワークショップ」を開催。
- ・地域の担い手になると期待される農家や企業を訪問調査を行い、成果物として農産物を紹介する「CHEERS！阿武隈」Vol.3を作成中。「CHEERS！阿武隈」Vol.1、2も田村市農林課ホームページに公開された。
- ・田村市観光情報サイトの多言語化については、英語、中国語(簡体字、繁体字)に翻訳した『多言語化プロジェクト翻訳結果』ページが同サイトに掲載された。ドイツ語、スペイン語、タイ語は、2024年度内に掲載完了予定。
- ・本学ホームページの地域連携ページにて復興知事業の活動を紹介している。



小学校の環境教育・SDGs教育では、川の水質検査やアクリルたわし作りも行った。



福島県立船引高等学校「総合的な探究の時間」においてファシリテーターを務めた。

今年度の成果

- ・『Tamura English Education』の刊行により、外国語科指導力がアップし、小学生の学びの向上につながると期待される。
- ・小学生の環境やSDGsに対する意識が高められ、高校生が地域の課題を自分事として考えられるようになった。また、学生も児童・生徒と交流することで、子どもたちが地域の課題にどう向き合っ欲しいか考えるようになった。
- ・市報での連載コラムや、市民向けイベント開催により、地域住民の環境に対する意識に高まりが見られた。
- ・本学ホームページに復興知事業を掲載して、学内外に向けて復興知事業の意義と使命を伝えられるようになった。



市民向け「キエーロ・ワークショップ」には5組7名が参加。生ゴミ処理器を製作し、持ち帰った。